

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

NPO法人ナルク岐阜福祉調査センター

②施設・事業所情報

名称：岐阜市立長森南保育所		種別：保育所	
代表者氏名：小野木 真紀		定員（利用人数）： 70名（79名）	
所在地：岐阜市蔵前 4 丁目 3-15			
TEL・FAX：058-245-2647		メールアドレス：ho-na-minami@city.gifu.gifu.jp	
ホームページ： http://www.city.gifu.lg.jp/info/shisetu/1010601/1010604/1010610.html			
【施設・事業所の概要】			
開設年月日昭和 28 年 5 月 1 日			
経営法人・設置主体（法人名等）：岐阜市			
職員数	正規職員： 10名	任用職員	3名
専門職員	所長 1名	保育士	3名
	副所長 2名	パート職員	9名
	保育士 6名	保育士	4名
	看護師 1名	事務員	1名
		調理員	4名
施設・設備 の概要	保育室 6室		(設備等)
	調理室 1室 事務室 1室 ホール 2(1・2階)		大型総合遊具 3連鉄棒 砂場 プール

③理念・基本方針（※転載）

<p>理念</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもの最善の利益を保障します *子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障します。 *家庭援助や地域における支援を積極的に進めます。 <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> *生涯にわたる生きる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○自分のことを自分でする力 ○人とかかわる力 ○身近な物や出来事とかかわる力 <p style="margin-left: 40px;">安心安全な環境のもと、子どもが主体的に遊ぶことができる環境を作り、様々な「遊び」を通して「生きる力」や「学び」の基礎を育めるようにしています。</p>

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

○立地・環境

・長森南保育所は岐阜市の南東部の長森地区にある。土地は概ね平坦で、東は各務原市、南は岐南町に接している。

・JR高山線長森駅、名鉄各務原線手力駅にも近く公共交通の利便性が高い。すぐ北に昔の中山道、火祭りで有名な手力雄神社があり、長森南小学校とは隣接した静かな住宅街にある。

・昭和28年4月に定員100名で開所し、昭和63年4月、現在の新園舎が完成時から未満児（1・2歳）保育も開始した。平成26年3月園舎の増築（1歳児保育室完成）に伴い、平成26年6月からは0歳児（57日～）保育を開設した。令和5年4月からは延長保育を開始し、現在定員は70人であるが、0歳児から5歳児までの子ども79人が元気に通所している。

・鉄筋コンクリート造り二階建ての園舎は、玄関を入ると広いホールが目に入る。1階、2階ともこのホールを取り囲むように保育室が配置され、1階は未満児室、2階は以上児室である。

・子どもたちは、洗面所へ行く時、階段を上り下りする時は、必ずこのホールを横切ることになり、3歳児、4歳児、5歳児のそれぞれの保育室にはドアがなく開放的であり、中の様子がよくわかり、異年齢の子が自由に入出入りできる。

○園庭

・園庭には、以前大きな藤棚の古木の下に広い砂場があったが、保護者の要望による駐車場増設のため撤去された。オータムフェスティバルには保護者の参観もあり狭いので、お隣の長森南小学校の体育館を借用して行われている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年5月20日（契約日）～ 令和6年11月27日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成30年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

●主体的な保育の実施

・一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育が行われている。

・「遊びこむ」「遊びきる」をテーマに子ども一人一人の欲求や気持ちに寄り添いながら、必要に応じて保育士が援助し、子どもが夢中になって遊び込める配慮がされている。

・工作などで、その日に完成しなかったときは、そのまま保存、次回以降に最後まで完成するよう配慮がされている。

・どの保育室にも、「おかしの家」「病院」など子どもたちが5～6人が一度に入ることができる大きな家が段ボールで作られている。段ボールの家以外にも保育室は、いろいろな遊びのコーナーが所狭しと、設けられており、子どもたちは好きな遊びをいつでも選んで、飽きるまで遊ぶことができるよう配慮されている。

・給食は遊びに、くぎりがついた子どもが自分で配膳し食事し、食事が終わったら自分で食器をかたづけ、歯磨きをし、次の遊びに入っている。(全員が食べ終わるまで待っていることはない)。

●ホールの活用

・2階ホールは水族館のように飾ってある。ホールの壁には子どもたちが描いた全長4メートルもの大きな「じんべいざめ」の絵が貼ってあり、周囲には子どもたちのいろいろな作品が並べてある。また、昼にはテーブルを保育室から持ち出して給食の場にもなり、異年齢交流の場として大いに機能している。

●安心・安全な福祉サービス提供のための取組み

(ヒヤリハット)

・4月15件、5月15件、6月10件、7月14件、8月11件、9月14件と、毎月10件以上のヒヤリハット報告があり、事故を未然に防ぐための努力が着実に実施されている。

・提出された報告書は月別、時間帯、場所別、事故の内容別などに細かく分類集計され、職員会などで、反省、対策などを話し合い、事故防止に繋げている

(お散歩マップ)

・保育所周辺は道路幅が狭く、白線がない道路が多く、交通量も多い地域にある。散歩コースは、手力雄神社等10か所あり、それぞれのコースのマップに危険な箇所を表示し事故防止に備えている。

・散歩報告には、クラス、人数、行先、目的、出発・帰着時間、引率職員名などが、明記されている。

●業務効率化 (ICT) の推進

・施設では、業務の効率化を積極的に推進している。

・「コドモン」により、子どもの登所、降所の管理の他、保護者からの連絡、園からのお知らせ一斉配信、毎月のたより、献立表、写真の販売などのアプリが活用されている。

●地域と交流

・JAぎふ、地域の老人会の協力を得て、保育所近くの畠を借り、サツマイモの苗植えから、収穫の芋ほりまで計画的な野菜の栽培を体験している。

・お店屋さんごっこに、老人会(毎回10人ほど)を招待し、お歌を披露したり、一緒に買い物をするなどの交流をしている。また、クリスマスにはサンタクロースになってもらっている。

●保護者満足度のアンケート

・今回の調査に際し、当調査センターは保護者全員に40項目のアンケート調査を行った。アンケートの回収率は89%と保護者の関心は高く、40項目の各設問に対しては82件ものコメントが寄せられ、保護者の総合的な意見欄でも45%の保護者から意見が寄せられた。そして、保護者の総合的な満足度は高く98%であった。

・5歳児の男女2人、児童のインタビューをおこなった。遊びの事、給食の事、歯磨きの事、トイレの事、ケガの事、先生の事など、いろいろお尋ねしたが、みんな元気に答えてくれた。大きくなったら、ラーメン屋さん、宇宙飛行士になりたいと答えてくれた。子どもたちは保育

所の生活を心から楽しんでいるようであった。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

日頃より保育所保育指針を基に、一人一人の子ども、保護者そして保育者を大切に、温かい保育を心がけてきましたが、第三者評価受審にあたり、マニュアルや保育内容、環境などをさらに丁寧に見直すことができました。その中で、保育実践の振り返りや職員相互の語り合い等を通じて課題を明確にし、「子どもにとってどうなのか」という視点で改善に向けて話し合いを重ねることで、専門性の向上及び保育の質の向上につながったと思います。

今後も子どもたちを大切に、健やかな育ちを保障できるよう、さらなる保育の充実、質の向上を図って参ります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。